

海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。
今回、台北駐在員事務所の池田所長代理に現地の情報やビジネスについて伺いました。

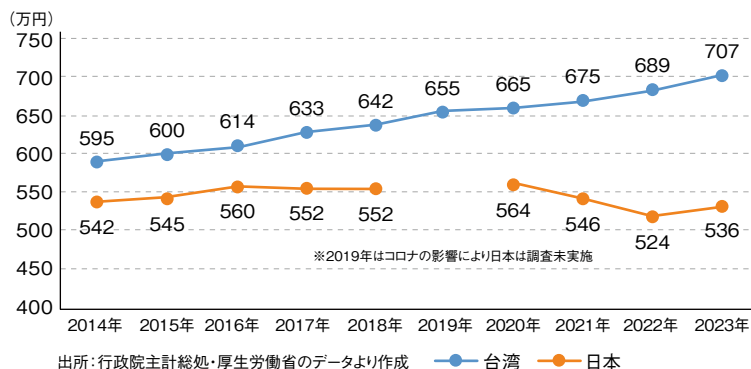
Question 1

現地の状況について 教えてください

A 台湾では近年、経済成長を背景に所得水準が上昇してきました。特に半導体を中心としたハイテク産業等における労働需要の高まりにより企業間で人材獲得競争が発生しており、優秀な人材の確保および定着を図るため、各企業が賃金を引き上げる動きが広がっていること等が所得向上の要因のひとつと言われています。台湾の1人あたりの平均給与は年間約400万円(台湾行政院主計総処データ)で、日本の約460万円(国税局データ)と比較して低い水準にありますが、平均世帯所得に着目しますと、台湾では夫婦ともに正社員として就業しているケースが多いこともあり、日本を上回る水準で世帯所得は着実に増加し、家計の購買力も上昇しています【資料1】。

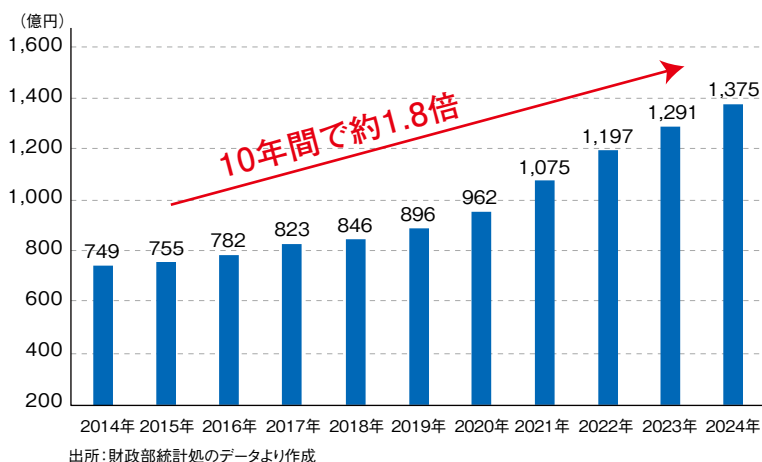
加えて、台湾でも少子化の進行や価値観の変化、例えば若年層に

【資料1】台湾と日本の平均世帯所得の推移 1台湾ドル=4.9円換算



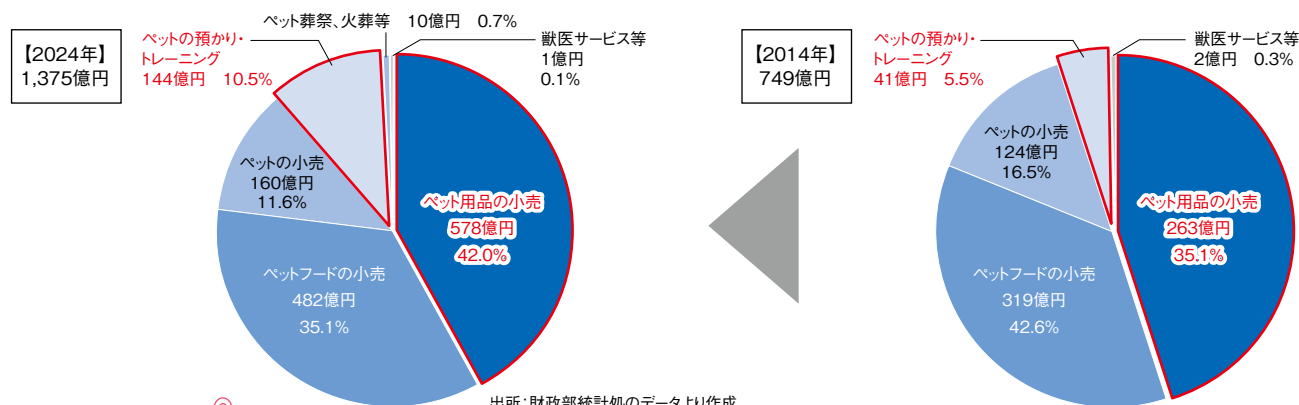
おいては結婚・出産は必須ではないと考える人々の増加等がみられ、消費も多様化してきたと言われています。これらの変化を象徴するひとつの例として、近年ではペットを飼育する人の増加が目になります。台湾農業部の調査によりますと、2023年の犬猫の飼育頭数は約279万頭となっております。

【資料2】台湾のペット関連小売売上高推移 1台湾ドル=4.9円換算



り、2021年の210万頭から2年間で3割も増加しました。犬猫の内訳をみますと、犬の飼育頭数は10年間で約174万頭から約148万頭と減少しているのに対し、猫の飼育頭数は約57万頭から約130万頭と倍増しています。猫の飼育頭数が増加した背景として、都市化の進行でマンション

【資料3】台湾のペット関連小売売上高内訳



Question 2

A 台北市内でペットショップを運営する企業に業界動向等の現

地企業の声を聞かせて下さい

等の集合住宅に居住する世帯が増加したことや、高齢化の進展により散歩の必要がない猫が選ばれていることなどが一般的に言われています。

台湾のペット関連市場も着実に成長を続けており、小売売上高はこの10年間で約1・8倍に拡大しました【資料2】。2024年のペット関連小売売上高において、割合が最も高い「ペット用品（約42%）」は10年間で倍増する勢いで市場拡大を牽引しており、また、「ペットの一時預かりやトレーニング」が10年間で約3・5倍に伸びていることも、ペットを家族の一員として環境を整え、大切に飼育するためにお金が使われるようになったことを示していると考えられます【資料3】。

地事情について、話を伺いました。

〜現地企業の声〜

最近、台湾ではペット関連展示会に多くの来場者が訪れるようになり、関心の高さが伺えます【資料4】。特にペットの健康や安全性への意識が強まり、「天然」「オーガニック」といったキーワードの商品への需要が高まっており、各ブランドもこれらを前面に出したプロモーションを展開しています。ペットフードでは高価格でも信頼感の高い海外ブランド製品が人気です。中でも日本製の猫用ウェットフードは、やや濃い味付けが偏食気味の猫にも受け入れられやすく、とりわけ健康面からミネラルバランスの良さを謳った商品が人気となっています。また、自動給餌器やペット用監視カメラの需要も高まっており、共働き世帯が多い台湾で、自宅を留守にしているも安心してペットを飼える環境作りが重視されています。消費者は価格よりも「健康」「安全性」「ペットの嗜好性」を重視

Question 3

A 台北駐在員事務所では、台湾駐在員事務所の活動事例を紹介して下さい

【資料4】ペット展示会の盛況な様子



する傾向で、これは「ペットを家族の一員」と捉える価値観の広がりによるものです。最近では、日本と台湾の企業が共同開発した犬猫用サプリメントが発売され、売上も好調です。台湾のペット市場の更なる拡大を見越し、異業種からの市場参入も増加しています。

Question 4

との貿易をはじめ、台湾進出、台湾企業の対日進出等に関するご相談を数多く承っております。貿易関連のご相談に對しましては、台湾現地の商社やバイヤー等のリストアップから、商談の設定、アフターフォローに至るまで、一貫したサポートを行っています。当事務所のネットワークには日系企業に加え、多くの台湾企業も存在しており、お客さまにとって最適なビジネスマッチングの機会をご提案できるよう努めております。今後さらに現地のニーズを的確に把握し、日本のお客さまへ確度の高いご提案ができることを目指して活動して参ります。

**海外ビジネスを目指す
お客さまへメッセージを
お願ひします**

A 台湾では所得の向上や人々の消費行動の変化、多様化に伴い、前述のペット市場のようなこれまでとは違う分野での消費拡

大が見られます。台湾の消費市場には既に世界中から様々な商品・サービスが流入しており、競争が激しいのは事実ですが、変化していく台湾人のニーズや嗜好を捉えることで参入のチャンスを探ることが出来る市場であるとも考えます。当事務所がサポートさせていただいたお客さまにおいては、強みである商品・サービスの品質の高さや技術力はそのままだに、台湾市場に精通した現地企業と連携して台湾に合ったものを生み出すことで、台湾での事業展開が軌道に乗るケースや、当初の想定とは違ったアイデアが生まれ、新しい事業が始まるケースもございました。

当事務所では、各分野の第一線で活動する現地企業等から情報を収集し蓄積しております。台湾との貿易や事業展開、進出等にご関心がございましたら、ぜひお取引のある営業店までご相談ください。



**現地のおすすめや
過ごし方をご紹介ください**

私が住む台北市から車で約1時間の距離にある福隆海水浴場では、毎年5月から9月に「砂の彫刻フェスティバル」と呼ばれるイベントが開催されています。世界各国から彫刻アーティストが参加し、数多くの砂像が展示されています。18回目

の開催となる今年はメインテーマにディズニーを据え、ミッキーマウスやプリンセスなど人気の高いキャラクターの彫刻作品等、計45体の砂像が展示されています。砂像はキャラクターの表情等細部に至るまで繊細に彫刻されており、中には高さ8m

【資料5】



を超える作品もあり圧巻です。毎年テーマが異なるので、何度来ても楽しめるというのもこの彫刻フェスティバルの魅力だと思います。もし夏場に台湾に来られる機会がありましたら、一度訪れてみてはいかがでしょうか【資料5】。

海外展示会 セレクション

FHA 2026 -
Food &
Hospitality
Asia



シンガポール
Singapore

展示会概要

「FHA 2026- Food & Hospitality Asia」は食品業界およびホテルやレストランといったホスピタリティ業界向けの展示会です。2025年は4月に「FHA 2025 Food & Beverage」という名称で食品と飲料に特化した内容で実施されましたが、次回2026年は近年別日程で開催されていた食品およびホスピタリティ業界向けの見本市を統合し、大規模に開催されることになりました。そのため今回は今年以上の来場者や出展者が見込まれ、東南アジアを中心とした世界のバイヤーとの直接交渉や新たなビジネス機会の創出が期待されます。主催者によると2つの展示会を統合し大規模化することで115の国や地域から約8万人の来場者と2,750社の出展を見込んでいるとのこと。



展示会主要情報

名称：FHA 2026 -Food & Hospitality Asia
開催期間：2026年4月21日～2026年4月24日
会場：SingaporeExpo
業種：食品・農林水産物、飲料、店舗用設備・機器、ディスプレイ、ホテル、レストラン、ケータリングなど
入場方法：公式ウェブサイトからの事前登録
※詳細は主催者へ直接お問い合わせください
入場資格：ビジネス関係者
公式WEB：https://foodnhotelasia.com/
サイト

2025年4月の開催時はJETROが設置したジャパンパビリオンに日本から31社・団体が出展し、ウニやウナギなどの水産品、イチゴ、スイーツ、果物ジュース、茶、日本酒、リキュールなどがブースに並べられ、日本の産品に興味を持つ来場者で賑わっていました。

また来年度統合開催されるホスピタリティ部門には、業務用調理器具や食器などのホテルやレストラン、カフェ運営に関する製品やサービスの出展があるため、幅広い業界の方におすすめの展示会です。



トピックス

中国国際
輸入博覧会



上海
Shanghai

展示会概要

「中国国際輸入博覧会（通称：上海輸入博）」は、「中国の輸入」をテーマとする国家級の大規模博覧会です。今年は11月5日から11月10日まで6日間の日程で行われます。毎年上海で開催されており、今回で8回目を迎えます。昨年は129の国と地域から3,496社が出展し、期間中は85万人超の来場者が訪れます。その最大の特徴は、中国の巨大な消費市場への窓口であることに加え、世界各国の企業や製品が集う国際的なビジネス交流の場となっていることです。実際に昨年の商談取引総額は800億米ドル超にのぼり、世界各地で行われる展示会の中でも最大の規模となっています。



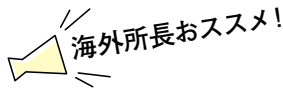
展示会主要情報

名称：中国国際輸入博覧会
開催期間：2025年11月5日～2025年11月10日
会場：National Exhibition and Convention Center
業種：食品・農林水産物、自動車、インテリジェント産業、情報技術、消費財、医療機器、ヘルスケア製品、貿易サービスなど
入場方法：公式ウェブサイトからの事前登録（10/20まで登録可能）
※詳細は主催者へ直接お問い合わせください
入場料：11/6～11/10（5日間）200元（約4,000円）
11/8～11/10（3日間）100元（約2,000円）
11/9（1日間）50元（約1,000円）・11/10（1日間）50元（約1,000円）
主催者情報：（名称）China International Import Expo Bureau
（住所）333 Songze Avenue, Shanghai, China
（Tel）+86-21-968888
公式WEB：https://www.ciie.org/zh/en/
サイト

今年から新たに特設ゾーンとして「海外地域・都市ゾーン」が設けられる予定であり、JETROを始め、中国市場を目指す多くの日系企業、地方自治体が出展を予定しています。また、越境ECプラットフォームも今年から開設され、出展者はライブ配信やマッチング機能を活用して製品のアピール、販路拡大を行うことが可能です。



トピックス



海外現地展示会一覧

	カテゴリー 主要商材	イベント名	開催期間 過去出展数/来場数	イベント概要	公式 サイト
香港 Hong Kong 	農林水産・食品 酒類	HKTDC Hong Kong International Wine and Spirits Fair 2025	2025年11月6日～8日 600社以上(20ヵ国)/ 8,230人	本展示会は、過去20年にわたり開催されるアジア最大級の酒類。例年20の国と地域から約600の出展者が集結し、オーストラリア、チェコ共和国、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、日本、中国本土、南アフリカなど、16の国際パビリオンが設けられ、ワインの他、ビール、日本酒、焼酎、スピリッツ、ウイスキー等多くの商品が展示され、多数のバイヤーが参加。	
	産業 ベビー用品	HKTDC Hong Kong Baby Products Fair 2026 (HKCEC)	2026年1月12～15日 2,500社以上(34ヵ国)/ 26,516人	授乳・育児用品、ベビーカー・ギア、寝具・家具、ODMベビーカーなど、新生児向けの基本アイテムからマタニティ用品まで幅広く網羅したアジア最大級の展示会。前回は世界34の国と地域から2,500以上の出展者が参加し、最新のベビー用品、革新的な文具、斬新なおもちゃなどが出展され毎年開催。	
	産業 レクトロニクス	HKTDC Hong Kong Electronics Fair (Spring Edition) 2026	2026年4月13～16日 2,300社以上(20ヵ国)/ 53,149人	本展示会は、世界有数のエレクトロニクス市場として認知されている展示会。各パビリオン毎にジャンルが分かれ、主な展示品は5G・AIoT、スマートホーム、ロボティクス、モバイルアクセサリをはじめ、パーソナルロボット、健康テックなども展示。また、主催者である香港貿易発展局のオンライン商談プラットフォームにより、展示会後も出展者との連携が可能。	
上海 Shanghai 	農林水産・食品 食品関係	FHC Shanghai 2025	2025年11月12日～14日 2,750社/171,828人	国内最大級の国際食品・飲料の展示会。30年以上の歴史があり、輸入食品を中心に調味料から酒類まで幅広い分野が対象。ホテル、レストラン関係のバイヤーが集結し、中国市場への販路拡大の重要拠点として位置付けされている。	
	産業 自動車関連部品	Automechanika Shanghai 2025	2025年11月26日～29日 6,763社/222,341人	世界最大規模の自動車部品・整備機器関連の国際展示会。毎年、世界中から多数の出展者と来場者が集まり、取引や情報交流の場となっている。また、自動車産業の最新技術や製品の発表も毎年行われている。	
	医療・健康 ヘルスケア	CHINA AID 2026	2026年6月4日～6日 519社/76,591人	上海民政局と上海国際貿易推進委員会が主催する中国最大規模の介護福祉展示会。日本からも自治体、企業の多くが出展。高齢者産業の需要増加に伴い、注目度の高い展示会となっている。	
大連 Dairen 	その他 その他	第14回大連日本商品展覧会	2025年10月24日～26日 約300社/約60,000人	毎年定例開催の大連を代表する展示会。本展示会には、日本ブランドの商品を求めるバイヤーや消費者(アクティビティやその家族など)が多く訪れており、出展企業にとって大連の市場状況を理解しつつ、現地の販路開拓に繋げる機会になることが期待される。	
	日用陶磁器、アート・ギフト用陶磁器等	2025年中国(北京)国際精品陶磁器博覧会	2025年10月30日～11月2日 1,000社/20,000人	本年度の博覧会では、「日用・芸術陶磁器展」、「スマート衛生陶器・建築用陶磁器展」、および「特殊陶磁器産業チェーン全体展」の3つの併催展示会が開催。中でも「日用・芸術陶磁器展」は15,000㎡の広さで、企業間の技術交流等を促進する国際的なビジネス・交流のプラットフォームとなっている。	
	その他 アウトドア製品	ISPO Beijing 2026	2026年1月9日～11日 30,000人/500社	アジアの重要なプロスポーツ貿易プラットフォームで様々なカテゴリーが集う見本市。アウトドアスポーツ、ウィンタースポーツ等におけるスポーツテクノロジー/新素材、キャンプライフとアーバンスポーツの国内外の有名ブランドが一堂に集い。	
台湾 Taiwan 	産業 情報通信・AI	第51回台北国際電子産業科技展 第8回台湾国際人工知能およびIoT展 (TAITRONICS&AIoT Taiwan 2025)	2025年10月22日～24日 318社/5,341人	世界でも最も歴史のある情報通信産業関連ビジネスの展示会。世界各国の専門バイヤーやサプライヤー等が参加。2025年のテーマは、「AIoT」、「ロボットおよびスマートオートメーション」、「スマートコントロール」、「スマートデータセンター」、「IoTの工業分野での応用」、「衛星通信」の6領域。	
	産業 エネルギー	台湾国際エネルギー見本市・ 台湾国際ネットゼロ見本市 (Energy Taiwan・Net-Zero Taiwan)	2025年10月29日～31日 1,625社/19,729人	グリーンエネルギーや再生可能エネルギー、カーボンニュートラルなど次世代エネルギーに関する製品や技術が一堂に会する台湾最大のエネルギー見本市。主催は、中華民国対外貿易発展協会(TAITRA)および国際的な半導体の業界団体であるSEMIの下部組織であるGESA(Green Energy and Sustainability Alliance)。	
	趣味・教育 旅行	2025 ITF台北国際旅行博	2025年11月7日～10日 1,500社/364,563人	年後半に開催される旅行関連の展示会としては最大規模の展示会。主催は財団法人台湾観光協会。2024年は、世界111ヵ国・市町村をはじめ、旅行会社、航空会社、ホテル等が出展。また、旅行会社のブースでは多くのセール商品を販売しており、4日間の売上が12億円(約60億円)となった出展企業もあった。	
タイ Tai 	機械 電気・エネルギー	Powerex & Electric Asia 2025	2025年11月12日～14日 90社以上/不明	電力、発電、送電、電気機器、技術、供給に特化した展示会。電力や電気関連企業やサポート業界がバンコクに集結し、電力と電気業界の最新動向を紹介。	
	機械 金属部品・電子機器等	METALEX 2025 - Machine Tools & Metalworking Exhibition	2025年11月19日～22日 3,000社以上/101,937人	金属部品・製品製造、製造・加工、電気・電子製造、航空宇宙・自動車、部品製造関連の大規模な見本市。日系企業も多く出展しており、世界中から3,000を超えるブランドが集まる。	
	農林水産・食品 食品関係	JAPAN SELECTION 2026	2026年1月28日～29日 約50社/約3,000人	タイ現地の大手バイヤーが集結する日本産品のB2B総合見本市。農林水産品をはじめ、食品機械、IP(キャラクター)、インバウンド、伝統工芸品、化粧品など、日本の強みを即効性と効果的に輸出拡大を目指す。物流や現地販売許可の取得もサポート、初めての海外展開でも安心して参加可能。	
ベトナム Vietnam 	趣味・教育 ベビー用品・教育用品	CBMEVN25 Children Baby Maternity Industry Expo	2025年11月13日～15日 約250社/約6,000人	ベトナムの中でもニーズの高まるベビー・教育用品に特化したB2B展示会。国内外から250以上のブランドが出展予定。インド・中国・トルコにて20年以上の同様の展示会開催実績を持つInforma Marketsが主催。	
	産業 木製品	VietnamWood 2025	2025年11月19日～22日 320社/11,876人	ベトナムの木工産業を代表する展示会であり、その成功実績と強力な国際的プレゼンスで知られている。木工工程用の機械設備、CNC工作機械の製造・販売等、多様な展示カテゴリーを擁している。	
	農林水産・食品 食品	Vietnam Foodexpo 2025	2025年11月12日～15日 406社/19,863人	ベトナム政府主導による国内最大規模の食品関連イベント。ベトナム国内の主要食品メーカーと輸出業者が一堂に会し、各来場者の要望に合わせたビジネスマッチングサービスを含む、さまざまな貿易促進イベントやカンファレンスが開催される。	
シンガポール Singapore 	その他 映像	ATF 2025 Asia TV Forum & Market	2025年12月2日～5日 不明/4,628人	毎年開催される映像コンテンツの見本市・カンファレンス。主なバイヤーは東南アジア各国のTV局、機内エンターテインメント、インターネット放送。毎年総務省等関係省庁の連携の下、日本のコンテンツを発信するジャパンパビリオンも設置されている。	
	機械 航空関連機械など	Singapore Airshow 2026	2026年2月3日～8日 1500社以上/約50,000人	2年に1回開催されるアジア最大級の航空・宇宙関連(民間機、ビジネスジェット、ヘリコプター、軍用機など)の展示会。世界各国の政府高官や軍関係者、企業の上級幹部が集結。	
	機械 航空関連機械など	APM 2026 Asia Pacific Maritime	2026年3月25日～27日 710社/15,717人	2年に1回開催される海事業界(造船(船舶、作業艇)、海洋土木、港湾テクノロジー等)の展示会。日本からは日本海事協会(NK)を中心に船舶関連の部品・塗料メーカーなどで構成されるジャパンパビリオンが出展。	

その他海外の展示会情報は、こちらのJETROサイトをご参照ください。

